



国際センター通信(No.112)

日越大学 (ベトナム・ハノイ) 社会基盤プログラムと 土木学会の共催セミナー

2021 年 12 月 4 日、日越大学 (ベトナム・ハノイ) 社会基盤プログラムと土木学会の共催セミナー「International Joint Seminar on ADVANCES IN CIVIL ENGINEERING (Chairman Prof. Sci Nguyen Dinh Duc)」が開催されました。日越大学は、ベトナム・日本両国の協力のもと 2016 年に開校されたベトナム国立大学 (Vietnam National University : VNU) のグループ校の 1 つであり、8 つの修士課程プログラムが JICA による技術協力プロジェクトを受けて開講されています。社会基盤プログラムはその 1 つとなります。

第 1 回目となる本年度のテーマは「Applications of Advanced Materials and Machine Learning in Civil Engineering」であり、以下の 5 つの発表がありました。

	Presentation Title	Presenter
1	Prediction of steel structures' responses using machine learning: Prospects and challenges	Dr. Truong Viet Hung, ThuyLoi University, Vietnam
2	Research and Applications of 3D printing: Current problems and future direction	Dr. Phuong Tran, RMIT University Melbourne, Australia
3	On Applications of DC algorithm and machine learning	Dr. Tran Duc Quynh, VNU International School, Vietnam
4	Image-language collaborative AI that reflects expert knowledge to inspect and diagnose bridges	Dr. Pang-Jo Chun, Assoc. Prof., The University Tokyo, Japan
5	Bridge inspection, damage detection and monitoring using UAV, AI and IoT	Dr. Ji Dang, Assoc. Prof., Saitama University, Japan

AI/機械学習は、現在注目されているにもかかわらず、なかなか理解するのが難しい分野です。しかしすべての発表とも内容が具体的でわかりやすく、オンサイト/リモートでの総勢 40 名を超える参加者による活発な質疑応答が行われました。

日本側から参加いただきました党先生と全先生、土木学会澁谷様には大変短い準備期間にも関わらず、多大なご協力をいただきました。ありがとうございました。このセミナーは来年度以降も継続予定であり、今後のベトナムと土木学会の結びつきに日越大学が貢献できることを願ってやみません。



【記：日越大学 准教授 武田 晋一】

国際航路協会日本部会(PIANC-Japan) YP グループの取り組み

はじめに

国際航路協会 (PIANC) は港湾・航路等の技術的課題に関する調査研究、開発途上国への技術援助など、幅広い活動を行う非政治的・非営利的な国際機関である (1885 年設立／本部：ベルギー・ブリュッセル)。現在、全世界で 66 개국、約 500 法人、約 1,800 人が会員となっている。

日本は 1952 年に運輸省(現・国土交通省)が、1965 年に水産庁が政府会員として参加しており、1977 年に PIANC の日本部会である PIANC-Japan が設立された。以降、PIANC 本部の副会長を日本から輩出するなどアジアでも随一の積極的な活動を展開している。また、PIANC の策定するガイドライン(技術基準) は国際的に広く参照されていることから、日本企業が適応しやすくなるよう官民が一体となって我が国技術基準の展開に取り組んでいる。

これらの取り組みについては 2022 年 3 月 8 日(火) 開催予定の“第 5 回技術基準の国際化セミナー「国際航路協会(PIANC)の活動による基準の国際化」

(<https://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/255>)”での紹介が予定されている。また、同セミナーでは PIANC-Japan の若手技術者活動についても紹介予定である。本稿ではセミナーに先駆け、若手技術者グループ(YP グループ)の取り組みについてご紹介したい。



アジア・太平洋セミナー in 韓国 (2018 年)

YP グループとは

PIANC-Japan では、国内における 40 歳以下の若手技術者（Young Professionals : YP）を対象に、若手技術者間のネットワーク構築および資質向上を目的とした YP グループを組織している。本グループは約 80 名（2022 年 1 月現在）の若手港湾技術者で構成されており、国土交通省、水産庁、研究機関、港湾運営会社、建設会社、設計コンサルタント、メーカーなど多様な母体からの参加がある非常にユニークなグループとなっている。国内の若手技術者同士の交流だけでなく、各国の代表者らで構成される YP-Com（若手技術者委員会）にて、世界各地の若手技術者との交流も数多く企画されている。



名古屋港 飛島ふ頭地区現場見学会（2019 年）

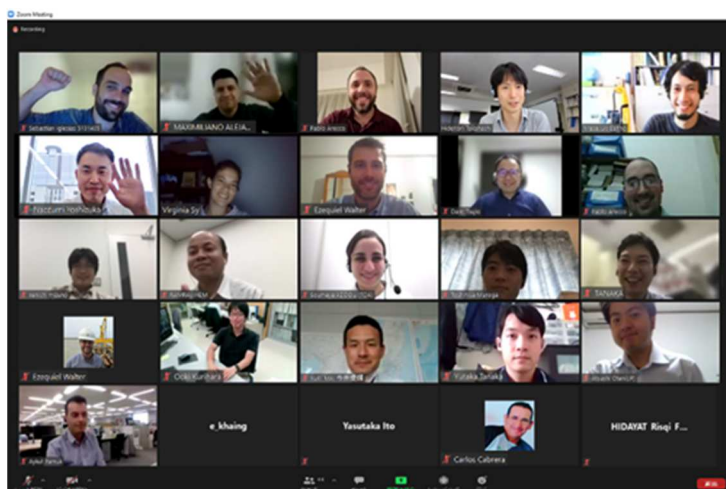
コロナ禍での活動内容の変化

コロナ禍以前には、年 2 回の国内会合を開催し、港湾関連の現場見学会や技術セミナーを実施していた。国際的な交流については、おおよそ年に 1 回程度の海外でのイベントが企画されており、2018 年には韓国でアジア・太平洋セミナー、2019 年にはシンガポールで現場見学会が開催されたが、現在は対面での交流は見送られている。

※これらの過去の活動については YP グループホームページをご参照頂きたい。

(<http://pianc-jp.org/ypcom/index.html>)

2020 年のコロナ禍以降は、対面からオンラインをベースとした活動にシフトした。現在は月に 1～2 回の頻度で「YP Japan セミナーシリーズ」と題したオンラインセミナーを開催し、YP を中心とした 1 時間程度の技術発表を行っている。対面で会合を実施していたときの参加者数は 20 名程度であったが、オンラインであることや 1 時間という短時間であることが功を奏し、多いときには 40 名を超える聴講がある。これまで、洋上風力発電、i-Construction、海外における施工事例といったテーマを取り扱っており、聴講者から高い関心が寄せられている。最近では海外の YP とのオンラインセミナーなども企画し、国際的な交流にもつながっている。



PIANC YP Argentina and PIANC YP Japan invites you to
PIANC YP-Com Webinar
JULY 15- 8 Hs JAPAN / JULY 14 - 20 Hs ARGENTINA

 **Re-functioning and upgrading construction works of main two piers in Puerto Madryn, Chubut, Argentina**
Sebastian Iglesias
MSc. Civil Engineering TU Delft

 **Marine Deep Mixing Method Using ICT and BIM/CIM**
Soumaya ADDOU
TOA Corporation

 **Preliminary study of Japanese port structure design considering the effects of climate change**
Daiki TSUJIO
Pacific Consultants

Registration: Link attached



アルゼンチン YP との時差 12 時間のオンラインセミナー（2021 年）

新たな発展とこれから

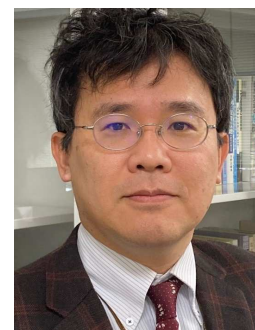
オンラインでの活動の最大のメリットは参加のしやすさであり、上述したセミナーシリーズを通じて初めて活動に参加する YP も増えてきた。また、セミナーの開催について PIANC 内外に広く情報を発信することにより、40 歳以上のシニアメンバーや PIANC 会員以外の港湾技術者のセミナーへの参加も見られるようになるなど、YP グループの活動は多角的な広がりを見せ始めている。一方で、セミナーは一方通行的なコミュニケーションに陥りがちで、YP 同士のより深い交流にはなかなか発展できていないと感じている。以前のように定期的に懇親会などが開催できるようになれば、YP 間の交流も再び活発になるだろうと期待している。年々、YP グループのメンバー数は増えており、今後も様々なイベントを通じて、若手技術者が海外に目を向ける一助となれば幸いである。本会に興味がある方は、お気軽に下記メールアドレスまでご連絡を頂きたい。

【記：港湾空港技術研究所、YP Japan 代表、伴野 雅之 (banno-m@p.mpat.go.jp)

日建工学株式会社、YP Japan 副代表、吉塚 尚純 (yoshizuka@nikken-kogaku.co.jp)】

第 14 回アジア交通学会開催

Eastern Asia Society for Transportation Studies (EASTS) は、1994 年に設立された。本学会が掲げる交通に関わる多くの専門家の交流を促進するという理念の下、2021 年 9 月現在、19 の国・地域の国内学会が加盟している。本学会は 2 年に一度のペースで国際会議を開催しており、第 1 回大会の 1995 年以降、2020 年までに 13 回開催された。第 14 回となる 2021 年の広島大会は、広島大学東千田キャンパスにおいて 9 月 12 日～14 日に開催する予定で、広島大学を中心とする実行委員会で開催準備を進めてきた。しかし 7 月 23 日～8 月 8 日まで開催された東京オリンピックは全競技が無観客試合とされるなど、7 月末になっても国内の COVID-19 は第 5 波のただ中であつたため、広島大会は学会史上初の Zoom システムによるオンライン開催で開催する運びとなった。



塚井 誠人
(アジア交通学会、
広島大学)

本大会は Conference partner に Asian Development Bank Institute (ADBI) を迎え、国土交通省中国地方整備局、広島県、広島大学防災・減災研究センターおよび土木学会の後援を得たほか、協賛団体・企業は 27 にのぼった (Gold: 8、Silver: 10、Bronze: 9)。大会プログラムは 4 つの plenary session (Keynote speeches、EASTS-ADBI-WCTR、Panel discussion、EASTS-ADBI)、International Research Group による 13 の発表セッション、94 の一般セッションで構成され、合計 408 本の論文が発表された。登録参加者は、28 の国・地域から一般 419 名、学生 292 名の合計 711 名であった。開会式では赤羽 一嘉国土交通大臣他、JICA 理事長、広島県知事、広島大学長から来賓挨拶があった。Keynote Speeches の内容を Table に示す。このセッションでは、25 の国・

地域から約 280 名のオンライン参加が見られた。大会後の参加者アンケートに回答した約 380 名のうち、90%以上がオンライン開催に満足していた。一方、85%程度が次大会の対面開催を望んでいた。オンライン学会は、確かに学会参加のハードルを下げる意義があるが、対面による議論には固有の価値があると思われる。2023 年大会は、価値ある研究上の出会いが多く起こる場となしてほしい。

なお、本大会は日本政府観光局国際会議 2020 年度「国際会議誘致・開催貢献賞」を受賞した。

	"Future of Mobility: Automation, Decarbonization and Integration" Jaehak Oh President, Easts President, Korea Transport Institute (Koti)
	"Quality Transport towards Peace and Sustainability in Asia: Beyond the New Normal" Akimasa Fujiwara Chair, Conference Committee of EASTS 2021 Professor, Hiroshima University
	"The COVID-19 Pandemic Effects on Economy and Transport Sector: Focus on Air Transport" Tae Hoon Oum President, WCRTS Professor, University of British Columbia
	"Data and Technology to Enable Transport Transformation" Jamie Leather Chief of Transport Sector Group, Asian Development Bank (ADB)

Keynote Speeches

* 本大会は公益信託土木学会学術交流基金の助成により実施しました。

【記：アジア交通学会 塚井 誠人（広島大学 准教授）】

お知らせ

【今後の予定】

◆ACECC Future Leaders Forum Monthly Webinar (2 月 19 日開催)

<https://committees.jsce.or.jp/acecc/node/48>

◆第 5 回 技術基準の国際化セミナー「国際航路協会（PIANC）の活動による基準の国際化」（3 月 8 日開催）：<https://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/255>

◆【予告】第 2 回日台座談会（3 月初旬開催予定）

◆【YouTube 動画公開】

2021 年度留学生向け現場見学会「JSCE Construction Site Tour for International Students」

https://youtu.be/oC7TLdR_7YY

2020 年度土木学会 国際活動奨励賞、国際活動協力賞 受賞者インタビュー

・国際活動奨励賞 受賞者 和泉 敏幸 様（五洋建設（株））

https://youtu.be/dcgde6IuC_M

・国際活動協力賞 受賞者 Moshin Usman QURESHI 様（オマーン ソハール大学）

<https://youtu.be/o7tyy3rMWaQ>

◆【委員公募】土木グローバル化総合委員会（仮称）「土木技術者の国際化実践小委員会」（応募期限：2 月 15 日まで）

https://committees.jsce.or.jp/2022_Presidential_Project02/node/7

◆3rd JSCE Concrete Committee Webinar "Frontiers of Concrete Technology"

<https://www.jsce-int.org/node/745>

- ◆「海外インフラプロジェクトアーカイブス (JSCE ウェブサイト英語版)」
<http://www.jsce.or.jp/e/archive/>
 - 【新規プロジェクト掲載】モルディブ・マレ海岸プロジェクト
<http://www.jsce.or.jp/e/archive/>
- ◆建設技術展 2021 関東トークショー『外国人技術者がみたニッポン』（土木学会関東支部共催）
https://youtu.be/F_nyBOvE66Q
- ◆The 9th International Conference on Flood Management (ICFM9)
<https://www.icfm9.jp/index.html>
- ◆European Council of Civil Engineers E-Journal
<http://www.ecceengineers.eu/newsletter/Files/ECCE-E-journal-23.pdf?m=1640190118&>
- ◆米国土木学会(ASCE) 関連
 - ・ASCE Lifeline Conference 2021 2022 日程: 2022 年 1 月 31 日-2 月 4 日
<https://samueli.ucla.edu/lifelines2021/>
 - ・ASCE Lifeline Conference 2021 2022 プログラム
<http://www.icontact-archive.com/archive?c=1808632&f=3957&s=4703&m=47144&t=b05884d7cda0263d3fc8745d9901e6deb9270d0c4e6b9c9e59669e74b5423010>
 - ・日米合同シンポジウム「インフラ・レジリエンスのための評価・管理・ガバナンス」*シンポジウム録画の視聴可能
<https://www.infraresil.jp/event/01/>
- ◆大韓土木学会 (KSCE)
 - ・Message from the 2022 President
<https://eng.ksce.or.kr/include/?pidx=104&htop=MN0320&ctop=MN0327&ptop=MN0320>
- ◆「旅に出たくなる日本の土木遺産」大河津分水 SNS 投稿まとめ (土木学会 note)
<https://note.com/jsce/n/nc7d5a9096192>
- ◆第 176 回論説(2022 年 1 月版) オピニオン
 - (1) 大学における教育の DX 化
<https://note.com/jsce/n/na46548f737ae>
 - (2) 社会インフラ整備・運営における価値創造の加速
<https://note.com/jsce/n/n3c6f375e37aa>
- ◆「国際センターだより」※JSCE ウェブサイト (日本語版)
http://committees.jsce.or.jp/kokusai/iac_dayori_2021
- ◆土木学会誌 2022 年 2 月号 ※JSCE ウェブサイト (英語版)
<http://www.jsce-int.org/pub/magazine>

配信申し込み

「国際センター通信」配信希望者 登録フォーム

- ・日本語版: (<http://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/31>)
- ・英語版: (<http://www.jsce-int.org/node/150>)

英語版 Facebook

直近の国際センターの活動について紹介しています。
 (<https://www.facebook.com/JSCE.en>)

【ご意見・ご質問】JSCE IAC: iac-news@jsce.or.jp 皆様のご意見やコメントをお待ちしております。

